



大野 鎮司 議員

インフルエンザ 予防接種の推進

問

受験生をインフルエンザウイルスから守り、勉強の成果が100%発揮できるように、幼児から中学3年生まで、インフルエンザ予防接種の助成としては。

答 武智市長

公費負担により接種を勧奨するには、予防接種法に基づき、インフルエンザワクチンの有効性や安全性など国の評価を経て、市が実施すべき定期接種に位置付けられることが不可欠である。国の定期接種化に向け

ての検討では、有効性の限界が示唆され、個人の判断で任意に接種を行うべきとの報告があり、現段階では公費負担による接種勧奨は難しい。

ただ、国では任意接種のワクチンで定期接種化すべき優先度の高いものについて、有効性や安全性の評価等が検討されており、動向を見きわめた上で助成対象者の拡大について検討したい。



5歳児健診の推進

問

① 5歳児健診の必要性と考え方、また実施に当たる際の問題点、課題は。
② 発達障害の疑いがあると判断された場合、その後の対応は。

③ 現在行われている就学時健診の体制と内容は。

答 武田市民福祉部長

① 5歳児健診に該当する幼児は保育所や幼稚園に通園している年齢であり、保育所保育指針、学校保健安全法にのっとり、それぞれの施設で定期的に健康診断を実施している。その中で、気になる幼児や治療の必要な幼児には関係機関と連携を図り、必要な支援を行っている。また、特別支援教育の巡回相談員により、定期的な訪問と必要な支援を行っており、現時点では、5歳児健診の導入は考えていない。

実施する場合に考えられる課題は、専門的スタッフの確保及び人員体制の整備、それに伴う予算の確保である。

② 幼稚園・保育所との連携を図り、必要に応じて発達障害の疑われる幼児の保護者に対し、専門療

育機関を紹介するなど必要な支援を行っている。

答 井上教育委員会事務局長

③ 学校教育法の規定により、各学校単位で実施している。検査項目は、学校保健安全法施行規則に定められており、内科、歯科、眼科、耳鼻科、視力、聴力・音声言語検査、学校における適応機能発達状況調べの項目を実施している。健診当日欠席した子どもは、後日近隣の学校での受診、もしくは直接病院で受診する。

健診の結果、疾病や異常が見つかった子どもは、入学までに必要な治療を行うよう、学校から保護者にお知らせしている。

レセプト、健康情報等を活用したデータヘルスの推進

問

レセプトの活用により医療費適正化に成功して

いる「呉方式」を参考に今後の重要課題としてデータヘルスを導入しては。

答 武田市民福祉部長

データヘルスと同様のシステムとして、現在国保連合会の協力で開発を進めている国保データベースシステムがあり、平成27年度に完全稼働を目指して準備を進めている。

このシステムが稼働すれば、個人や地域における健康状況や健康課題を的確に把握でき、健康教育や保健指導などの保健事業の効果的な推進を図り、医療費の適正化につながる。ただ、伊予医師会などの理解と協力が重要であり、このことを十分踏まえて実施していく考えである。

その他の質問事項

○ゼロ予算について